

◆ITにより低コストに人工林材から内装材を製造する生産・加工システムの開発 (2011～2013年度)

共同研究機関: (地独)北海道立総合研究機構 森林研究本部林産試験場(中核機関)
(地独)北海道立総合研究機構(林業試験場、工業試験場)
(独)森林総合研究所、DIC株式会社
普及支援; 北海道水産林務部

研究概要: 木質内装材は住宅資材として大きな市場を持ちますが、その原料は主に輸入材に頼っています。ここでは、付加価値の高い内装材として、国内のカラマツ、スギ、シラカンバなど人工林材を積極的に活用すべく、課題である節の処理技術を精査し、評価技術を開発し、これらに基づいたITによる低コストな生産、加工技術を開発します。これにより、森林資源の充実、木質内装材の自給率向上、施設への木質材料の活用推進を図ります。



課題提案者の感想: 産学官連携コーディネーターの支援に対して



北海道立総合研究機構
森林研究本部 林産試験場
斎藤直人 部長

的確なキーワード「節」を見出していただき、合わせて普及の視点から研究方向を「ITを活用した装置開発」に集中させるなど、研究企画の重要な指導をいただきました。これにより、我々も確信を得て、分担と連携がスムーズに取れました。地域産業を創出するためには、地域を熟知したコーディネーターによる助言、指導が不可欠で、今後の進展にも影響する有意義な機会と思っています。課題の遂行は鋭意努力しますが、進展に応じた展開方策等については、今後ともご指導をお願いします。